



「環境活動レポート」

2016年度（自2016年6月～至2017年5月）

2017年 8月18日 発行



株式会社クロス

環境理念

株式会社クロスは、環境問題に積極的に取り組み、事業活動の全領域で環境負荷の低減に配慮し行動します。

環境方針

1. 環境経営システムを構築運用し、定期的に環境経営システムの見直しを通じて、環境負荷の低減に継続して取り組みます。
2. 環境への取り組みとして、特に次の事項に取り組みます。
 - 二酸化炭素の削減
 - 廃棄物の削減
 - 排水量の削減（節水の意識の高揚）
 - グリーン購入の推進
 - 地域社会への貢献
3. 環境にやさしい副資材及び設備の提案セールスを実行します。
4. 環境関連法令を遵守し環境保全に取り組みます。
5. 環境方針、目標を全社員に周知徹底し環境への係わりに対する認識を高めると共に社外にも公表します。

平成22年10月21日 改訂
平成18年 8月31日 制定
株式会社クロス
代表取締役 鈴木 誠治

1. 組織の概要

(1) 事業所名：株式会社クロス

(2) 代表者：鈴木 誠治

(3) 所在地：

- 株式会社クロス本社：東京都江東区亀戸6-53-9
- 関東支店：埼玉県加須市古川 1-2-2 加須大利根工業団地
- 秋田支店：秋田県秋田市川尻町字大川反233-95
 - (八戸駐在)：青森県八戸市下長6-11-10-105
- 長野支店：長野県塩尻市大字広丘野村角前1838番地 2 F
 - (長岡駐在)：新潟県長岡市高見町445
- 福島支店：福島県郡山市八山田5-75
 - (山形駐在)：山形県山形市若宮2-2-31
- 名古屋支店：愛知県一宮市朝日1-6-17
 - (広島駐在)：広島県府中市中須町554-3

(4) 環境管理関係の責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：清水 逸郎 (部長)
- 担当者：内村 早苗 (管理部)
- 連絡先：(電話) 03-3684-4110 (FAX)03-3636-6643

(5) 事業内容 (鋳物関連)

- 溶解装置と資材の販売
- 造型装置と資材の販売
- ロボット及び鋳仕上装置の販売
- 砂回収再生装置の販売
- 塗型剤の販売
- 耐火材の販売

(6) 事業規模

活動規模	単位	2013年	2014年	2015年	2016年
売上高	百万円	4,327	4,606	4,078	4,255
従業員	人	43	43	43	45
床面積	m ²	1801	1801	1790	1790

(7) 会社沿革

1926年: 黒須商店として創立

1954年: 株式会社黒須商店設立

1966年: 名古屋支店・長岡支店開設

1969年: 福島支店開設

1970年: 山形支店開設

1971年: 長野支店開設

1979年: 株式会社クロスに社名変更

1998年: 秋田支店開設

2007年: 広島支店開設

2010年: 組織変更

2011年: 福島支店・名古屋支店移転

2013年: 関東支店移転

2014年: 北陸駐在撤退、北上駐在撤退・八戸駐在新設

2015年: 長野支店移転

2016年: 関東支店移転

2.対象範囲(認証・登録範囲)、レポートの対象期間及び発行日

- (1) 対象範囲は「1. (3) 所在地」欄に記載。
- (2) レポートの対象期間及び発行日は表紙に記載。

3.環境目標

当社の主たる業務は卸売業であり、製造設備等を持たない事業形態の5ヶ所の事務所と倉庫のみである。したがって、当社では以下の項目について環境目標を立て、実績を管理している。

(1) 二酸化炭素排出量削減

ガソリン等燃料使用量は2013年度を基準値にし2016年度までに5%削減する。

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
		(基準)	2%減	2%減	1%減
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	198,192	194,228	190,264	188,282
ガソリン・軽油	ℓ	62,644	61,391	60,138	ガソリン 42,389
					軽油 17,123
					59,512
電力量	kwh	121,855	119,418	116,981	115,762

※2016年度より ガソリン、軽油を分けました。

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

社用車、トラックの燃費を2013年度を基準値にし2016年度までに5%向上させる。

項目	単位	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
		(基準)	2%減	2%減	1%減
燃費(社有車、トラック)	km/ℓ	13.04	13.30	13.56	13.69

(3) 廃棄物及び総排水量削減

コピー用紙使用量を2013年度を基準値とし各年基準値に対し1%削減する。

項目	単位	2013年度 (基準)	2014年度 1%減	2015年度 1%減	2016年度 1%減
コピー用紙	Ton	1.21	1.20	1.18	1.17
総排水量	m ³	508.45	503.37	498.28	493.20

(4) グリーン購入の推進

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度
グリーン購入	%	事務用品購入割合80%超	事務用品購入割合80%超	事務用品購入割合80%超

(5) 環境配慮設備・材料販売

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度
環境配慮材料販売	数	40	20t	20t

項目	単位	2014年度	2015年度	2016年度
環境配慮設備販売	台	1	1	1

※環境配慮設備の販売は2009年度の環境方針より実施

(6) 地域社会への貢献

会社周辺の清掃 隔月/1回

4.環境活動計画（取組内容）

(1) 二酸化炭素排出量の削減

(A)ガソリン・軽油の使用量の削減

- 急発進、急ブレーキを避ける。
- アイドリングストップの励行。
- 始業点検を励行し、車輛を適切に維持する。
- 法定点検等、車両点検を受ける。
- 最短距離で、渋滞を回避する運行計画を立てる。
- 経済速度を守る。
- トランクの荷物を減らす。
- タイヤの空気圧を適正にする。
- 車輛切替時にハイブリッド車の導入を検討する。
- エコドライブ十ヶ条の実践。
- オリックス自動車(株)のテレマティクスサービスによる車両管理、指導をする。
- 燃費効率の向上に取り組む。

(B)電気使用量の削減

- 長時間使用しない設備は電源を切る。
- 省エネタイプの電化製品を使う（電源のON・OFFを励行する）
- 始業前・休憩時間・昼休み／就業終了後は消灯する。
- 休憩室・トイレは使用していないときは消灯する。
- トイレと台所の換気扇は使用后必ず止める。

(2) 排水量の削減

- 節水の意識の徹底。
- 手洗い時に水を出し放しにしない。
- 洗車時には必要以上に水を出さない。
- 水漏れを発見したら上司に報告する。

(3) 廃棄物の削減

- 使用済み用紙の裏面使用。
- 両面コピーや集約コピーにより用紙の節約をする。
- 書類の作成、保存は可能な限り電子化し、用紙の使用を減らす。

(4) グリーン購入の推進

- 事務用品はもちろん、営業車や事務所用家電製品等エコマークをついたものを優先的に購入する。

(5) 環境配慮設備・材料

- 設備にとどまらず、環境にやさしい副資材（材料）の提案を行う。

(6) 環境教育

- 社員には、社内会議等でエコアクション21の啓蒙を図る。
- 採用時には環境活動資料を配布する。
- ▼環境管理委員がすること
- エアコンの温度設定、不要時の消灯状況を監視する。
- 電力、燃料使用量を記録する。
- 蛍光灯は省エネ対応のものを使用し、常時使用しない箇所の蛍光灯は、本数を減らす等の処置を講ずる。
- コピー機、パソコン等OA機器の購入に当たっては、省エネ対応機種を積極的に導入する。
- 従業員に節水の意識付け。
- 水漏れが発見されたら直ちに修理する。
- 水の使用量を記録する。
- 従業員への廃棄物の削減及びリサイクルの意識を高める。
- 発生量を記録する。

(7) その他の取り組み

- 会社周辺の清掃 隔月/1回

5.環境目標の実績

(1) 二酸化炭素排出量削減

項目	単位	2013年度	項目	2014年度	2015年度	2016年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	基準	計画	194,228	190,264	188,282
		198,192	実績	184,301	177,908	186,828
			達成率	105%	106%	101%
ガソリン・軽油	ℓ	基準	計画	61,391	60,138	59,512
		62,644	実績	59,810	56,112	57,826
			達成率	103%	107%	103%
電力量	KWh	基準	計画	119,418	116,981	115,762
		121,855	実績	103,928	110,473	110,313
			達成率	113%	106%	105%

※各項目上段計画、下段実績

※平成21年度対象電力会社の加重平均値 0.438kg-CO₂-kwhを使用

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

項目	単位	2013年度	項目	2014年度	2015年度	2016年度
燃費効率(社有車、トラック)	km/ℓ	基準	計画	13.30	13.56	13.69
		13.04	実績	14.31	14.96	14.82
			達成率	108%	110%	108.25%

(3) 廃棄物削減

項目	単位	2013年度	項目	2014年度	2015年度	2016年度
コピー用紙	Ton	基準	計画	1.20	1.18	1.17
		1.21	実績	1.32	1.07	0.86
			達成率	90%	110%	127%

(4) 総排水量削減

項目	単位	2013年度	項目	2014年度	2015年度	2016年度
排水量	m ³	基準	計画	503.37	498.28	493.2
		508.45	実績	441.09	393.63	334.88
			達成率	112%	121%	132%

(5) グリーン購入の推進

グリーン購入の推進（事務用品購入割合80%超）

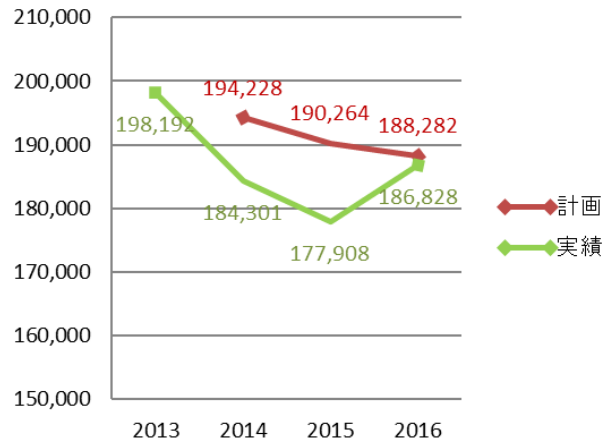
項目	目標	単位	2014年度	2015年度	2016年度
エコ購入数	事務用品 購入割合	数	217	199	199
総購入数		数	350	360	340
購入割合	80%	%	62%	55%	59%
達成率			77.500%	69%	73%

(6) 環境配慮設備・材料販売

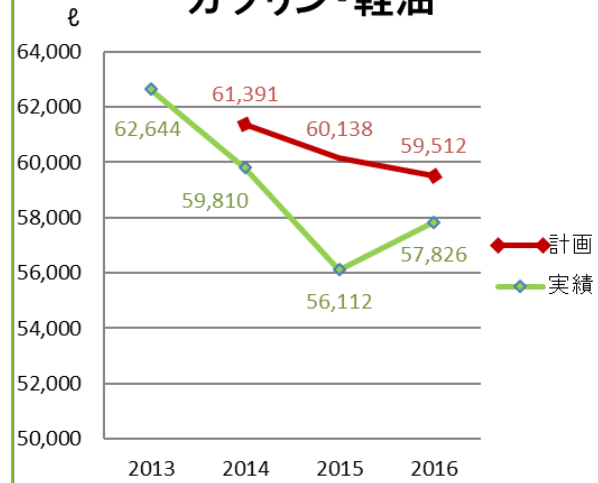
項目	単位	項目	2014年度	2015年度	2016年度
環境配慮材料販売	(数・t)	計画	40	20t	20t
		実績	39	7.8t	3.4t
		達成率	98%	39%	17%

項目	単位	項目	2014年度	2015年度	2016年度
環境配慮設備販売	台	計画	1	1	1
		実績	1	0	0
		達成率	100%	0%	0%

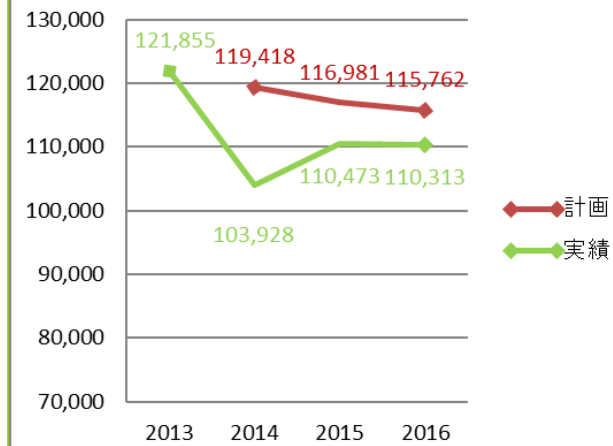
二酸化炭素排出量



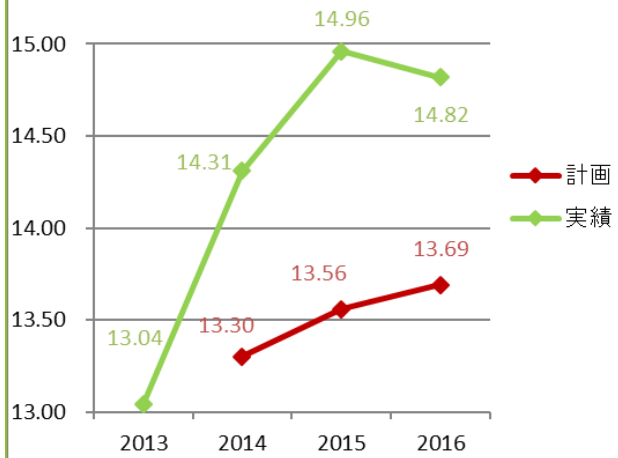
ガソリン・軽油



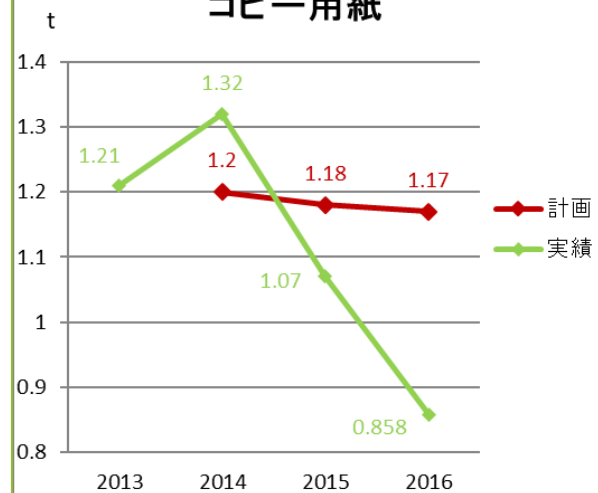
電力量



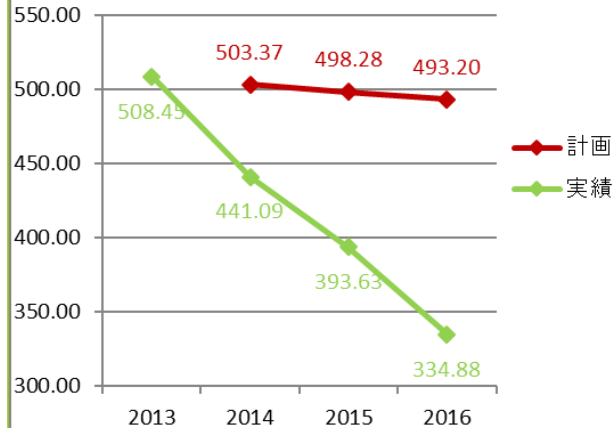
燃費



コピー用紙



排水量



6.環境活動計画の取組結果とその評価

- 二酸化炭素排出量削減は、当期目標1%削減計画に対し、0.8%減となり目標を達成した。
- ガソリン・軽油使用量は、当期目標1%削減計画に対し、3.9%減となり目標を達成した。前年度実績より増加した理由は、リース車の走行距離の増加に伴い燃費が悪くなったため始業点検を励行し、車輛を適切に維持する。また 新規開拓による遠方への訪問増加やトラックの使用頻度の増加のためである。
- 電気量削減は、当期目標1%削減計画に対し、6%減となり目標を達成した。
- コピー用紙の削減は、当期目標0.8%削減計画に対し、27%減となり目標を達成できた。会議資料のペーパーレス化の推進、裏紙の積極的な使用による。今後も進める。
- 排水量削減は、当期目標1%削減計画に対し、21.8%減となり目標を達成した。理由は、関東支店が(株)メタルスファンドリィ内に移転した為 個別に排水量を量れなくなったことが大きい。
- 不燃ごみの増加は、倉庫の整理をした際の缶等が出たり 日常のごみの増加による。
- 地域社会への貢献は、会社周辺の清掃実施に関して、全社で71回実施した。
- エコ関係材料販売は、7,778kgで、目標を達成できなかった。
- グリーン購入は、199個購入したが、目標には届かず、55.3%であった。

7.次年度の取組内容

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - (A)ガソリン・軽油の使用量の削減
 - (B)電気使用量の削減
- (2) 排水量の削減
- (3) 廃棄物の削減
- (4) グリーン購入の推進
- (5) 環境配慮設備・材料販売
- (6) 環境教育
- (7) 会社周辺の清掃 隔月／1回

8.2017年度以降 3 力年計画

(1) 二酸化炭素排出量削減

ガソリン等燃料使用量は2016年度を基準値に 現状維持を目標とする。

項目	単位	2016年度 (基準)		2017年度		2018年度		2019年度	
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	186,828		186,828		186,828		186,828	
ガソリン・軽油	ℓ	ガソリン	40,672	ガソリン	40,672	ガソリン	40,672	ガソリン	40,672
		軽油	17,154	軽油	17,154	軽油	17,154	軽油	17,154
			57,826		57,826		57,826		57,826
電力量	kwh	110,313		110,313		110,313		110,313	

※ 2016年度より ガソリン、軽油を分けました。

(2) ガソリン・軽油使用量の削減

2017年度より、社用車・トラック毎に燃費を管理する。

項目	単位	2017年度			2018年度			2019年度		
燃費(社用車)	km/ℓ	15			15			15		
燃費(トラック)	km/ℓ	7			7			7		

(3) 廃棄物及び総排水量削減

コピー用紙使用量を2016年度を基準値とし各年基準値に対し1%削減する。

項目	単位	2016年度 (基準)		2017年度		2018年度		2019年度	
				1%減	1%減	1%減	1%減	1%減	1%減
コピー用紙	Ton	0.86		0.85		0.84		0.83	
総排水量	m ³	334.88		334.88		334.88		334.88	

(4) グリーン購入の推進

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
グリーン購入	%	事務用品購入割合80%超	事務用品購入割合80%超	事務用品購入割合80%超

(5) 環境配慮設備・材料販売

・環境配慮材料

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
デルタキャスト チルコート	t	60	65	70

・環境配慮設備

項目	単位	2017年度	2018年度	2019年度
プリンター	台	5	5	5

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、違反はありませんでした。また、関連機関からの指摘、環境関連の訴訟もありませんでした。

区分	法規等名称	実施状況
廃棄物	廃棄物処理法	適正に実施
化学物質	毒物および劇物取締法	一般販売業者取得済
グリーン購入	グリーン購入法	実施中
省エネ	省エネルギー法	実施中
資源循環	家電リサイクル法	実施中
化学物質	フロン排出抑制法	実施中

10.代表者による全体評価と見直しの結果

2007年認証されてから10年過ぎ、全体的にエコアクション21に対する意識が定着されているが、各項目の削減には限界に近づいていると思われる。

次年度以降 コピー用紙の削減、環境配慮材料・設備販売以外については、現状維持を目標とする。

ガソリンと軽油については、次年度より分けて管理するようにし 今後も 2か月に1度開催の営業会議にて運転診断の報告・対策の指示を実施し、二酸化炭素排出量の削減に努める。

環境配慮設備・環境配慮材料の販売については 対象の商品を変更し、環境配慮材料2017年度 60 t、環境配慮設備 5台を目標とする。

コスト面でエコ商品を選択しないことが多い為 グリーン購入について未達成である。 購入の都度エコ商品と比較検討するよう指示した。

今後も、全社員で活動に取り組んでいく事とする。